

東洋医療を考える会 会報

発行元:NPO 法人 東洋医療を考える会

住所 渋谷区代々木2-39-7メゾン代々木201号

TEL 03-3375-6151 / FAX 03-3299-5275

メール iryu-kangaeru@waltz.ocn.ne.jp

ホームページ <http://npo-iryu.org/>



2023年 体験マッサージ

「社教館まつり」に参加させていただくようになって体験マッサージで多くの方との出会いをすることが出来ました。

2月12日、コロナ禍のせいなのか、3年ぶりの「社教館まつり」に参加者が少ない中で体験マッサージに参加された方が少なかったのは残念でしたが始まる前から待ってくださった方もいらっしゃいました。今回体験された14名のアンケートは「大変良かった」

「良かった」が参加された方のほとんどの方から評価され3月の予約に3名と従来から毎月参加された方3名の予約となりました。参加された方は全員4月の予約をされました。

体験マッサージは初めての方が多かった事に希望をもって東洋医療を広める力に期待しました。

患者が選ぶ治療として西洋医療と同じく東洋医療も健康保険で気軽に受けられるよう体験された方々に医療制度の改善を願って署名活動にもご協力いただいています。

「未病を治す」医療として体験し、友人知人、ご家族に声をかけていただき広めたいと思います。

体験マッサージは予約制になっています。希望される方は前もって連絡ください。又、予約しても都合が悪くなる方は早めに連絡いただきますようお願いいたします。消毒とマスクはしばらく着用をお願いします。

体験マッサージの予定日 6月15日(第3木曜日) 1時～3時

7月20日(第3木曜日) 1時～3時

8月はお休み

以上

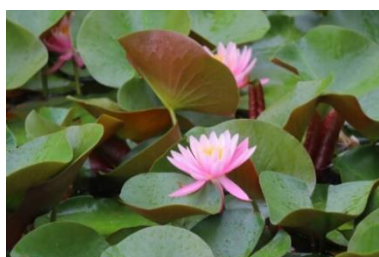
NPO法人東洋医療を考える会

東京都渋谷区代々木2-39-7メゾン代々木201

(連絡先) 事務所 03-3375-6151 担当 山口充子 (090-1435-3715)

季節の花がつぎつぎに咲き競う 昭和記念公園

スイレンにハス、5月上旬から7月中旬。ゆり7月上旬から下旬。アジサイ6月中旬から7月中旬。



季節の花を訪ねて昭和記念公園へ

みなさん昭和記念公園をごぞんじでしょうか。

武蔵野の自然を取り込んだ大公園です。「花の丘」は15000㎡の丘の斜面を、春はポピー、秋はコスモスの花がいろいろあります。

「こもれびの丘」は武蔵野の雑木林を復元180種の山野草が育成されています。

「花木園」では200種の花木が植栽され、四季いつでも花を楽しめます。川も池も、武蔵野の自然を取り込んだ首都圏最大規模の公園です。

季節の花を訪ねて散策しましょう。

開催日 2023年7月1日
(土曜日)

集 合

昭和記念公園
西立川ゲート前
午前10時

(立川駅の次の駅、
青梅線西立川駅
下車。西立川駅の改札をでると
ゲートは見える近さです。)



養生、はり・きゅう、あん摩マッサージ指圧治療 伝統医療で免疫力をたかめよう

コロナウィルスの影響で治療体験も制約を受けて開催する日が減少していましたが、2月12日に、3年ぶりに「千駄ヶ谷社教館祭り」が開催されました。

コロナ感染対策もあり、前回の祭りより参加団体が制約されてきました。治療体験の希望者がややすくなかったようですが、治療を受けた方々から「肩こりが楽になった」「腰痛が楽になった」「からだ全体が楽になった」など、皆さんから大いに喜んでいただきました。

毎月1回行われている治療体験に参加したいという人も増えました。

自分が担当した「腰痛」で悩んでいる方も、西洋医療の薬だけではなかなか治らないと話していました。

開業している治療院に見える患者さんも同じように感じている人がいます。

なぜ「はり・きゅう、あん摩マッサージ指圧治療」いわゆる東洋医療を、医療として活用して、健康保険証の提示で治療してもらえない様にならないのか、という話になります。

先に紹介した治療体験者の話で「からだ全体が楽になった」という事に関して考えると、この3年間「腰痛の予防などに」定期的に治療にみえた患者さんが、コロナウィルスに感染する確率が低かったことがカルテを集計すると解ります。

はり・きゅう、あん摩マッサージ指圧治療が患者さんの免疫力を高めて予防に効果があったと考えられます。国は東洋医療を医療として活用するように、健康保険で受診できるように運動しましょう。

はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧師、高橋 養藏

山道も歩けるように頑張ります

西田さんの体験談

だいぶ古い話しになりますけど、「大橋巨泉さんが」がこんな話しをしていました。「歳をとってきたら、も転ぶな！！」と、転んで骨折などして、歩けなくなりやあ、やがて寝たきりにー？？ 特に自分の家では怪我に気を付ける！！

そんなことに気を付けて過ごして来たものの2年前、仕事中にチョットした出っ張りに『つまづき』転倒し、「左膝のお皿」を割り、骨折入院をしてしまった。

3週間で退院し、リハビリを頑張ったつもりだったのですが、長い間 左脚の痛みがとれず、歩くことが困難でした。

『MRI』で精密検査をしたら『脊柱管狭窄症』と診断され、ただ 呆然——！！！！

若い頃から 日頃 運動等を全くしてこなかった人生でした。ですから、今回の怪我の『真の原因』もこの狭窄症の後遺症ではないかと考えている次第です。

そこで 友人の紹介で知った『東洋医学』の先生に相談し診てもらった所、『骨盤の歪み』がある、とのこと。

これは、急に悪くなったものではなく、昔からのもので加齢により現在に至ってる。ー！！

この治療を始めて 約1年経過しますが、痛みが和らぎ、軽い散歩は問題なく、ただ、早足は だめです。

今は『山登り』が出来るようになるのが目標で、山と言っても『高尾山』で十分ですが！！ 子供の頃から 運動神経が鈍く劣等感で過ごして来た『ツケ』がこんな所にあるなんて。？？

患者を代表して 石井章 参議院議員(日本維新の会)へ面談

令和5年3月25日 理事長 山西 俊夫

今回、施術を受けている清水代表理事から日本維新の会の石井章参議院議員との面談があるとお誘いを受けて、急遽患者を代表して参加しました。

面談日時：3月3日（金）PM2時～3時 於参議院議員会館 石井議員事務所

面談者は石井章議員、藤田政策担当秘書、参加者（社）鍼灸マッサージ師会清水代表理事、橋本副代表理事、朝戸理事、奈須理事、久下監事、山口監事、山西

石井議員との面談では、議員が3月14日の参議院予算委員会で問題にした、「あはき」師の治療を利用する患者に対する妨害にも等しい、保険者の過度な患者照会の問題がとりあげられた。

保険者が（患者にと聞き取り）をしており、柔整師、「あはき」師にとっては営業妨害に等しく問題であるとして、岸田首相に質問されている「NHK 国会中継」録画の視聴を行った。

この患者照会との名称で行われる、保険者の「あはき」治療を利用する患者への調査の問題点が参加した各理事から発言があった。

① 請求内容に疑義が無くても患者照会をしている県がある事。②患者照会の基準も実施方法も保険者に周知されていない事。③保険者、厚労省に相談窓口がない事。④東京葉業健康保険組合が行っている患者照会では、同意書で協力した医師にまで電話をして、診断への圧力をかけた事例、などなど患者者照会の問題点が指摘された。

山西から患者の代表として訴え

患者の代表として参加した山西からの発言。自らの病い（C型肝炎）と東洋医療との出会い、最初は西洋医療の薬事療法を受けたが効果が無かった。ある時、人の紹介で東洋医療を知り、以来30数年、東洋医療の受療を続けているが、お陰で未だ会社で現役を継続できており、生涯現役を目指している。

高齢者には医師に同意書を頼むのは大変なストレスがかかる事であり、自分の目の黒いうちに東洋医療へ健康保険の適用を実現させたいとの思いは強い。

東洋医療は日本の伝統文化であるのに、明治維新の脱亜入欧、第2次大戦後に東洋医療に対して無知な米軍から、鍼灸治療は野蛮だと医療から排斥されて今日に至っているのは、日本人に自主性が無くおかしい旨の訴えをしました。

今後の活動について：石井議員から

今後、日本維新の会では議連を立ち上げ、厚生労働委員会で課長級の役人をよんで、勉強会を計画している。議員でない人も出席可能にしたい。

維新の会は医師会とのしがらみも無く、困っている人にスポットを当て弱者救済を目指している、との旨の発言があった。また藤田政策秘書からも、患者照会の問題を取り上げていきたいとの前向きな発言もあり、今後注目していきたいと考えています。

また、今後、立憲民主党の海江田議員からの紹介で小西議員との面談も岩下理事の努力で予定されており患者としても面談の機会を楽しみにしています。

1 自然界に対応して梅雨期（初夏）の健康な暮らし方

気候温暖化の影響でしょうか、5月半ばなのに、雨がよく降りました。この季節の注意点をおさらいしてみましょう。この時期の特徴—湿度の高まり、気温の上昇、気圧、風の変化などあります。その日の天候に合わせて、衣類などを調節する。

- ① その日の行動、疲れすぎないようにし、十分な睡眠をとる。
- ② 適度に体を動かし、いい汗をかく。
- ③ ① 食生活、原則身土不二といわれますが、その国の気候、風土によって、その人に合った食べ物は異なります。緯度の北の方の国は寒さを乗り越えるために、肉食を多くとっていました。日本は温暖なアジア地域です。その土地でとれたものが望ましいのです。
 - ㊸ 旬のものを適量、バランスよくとる。
 - ㊹ 冷たい飲み物は取り過ぎない。胃液がうすまったり、消化しにくい。
 - ㊺ 甘いものは陰の性質が強く、とりすぎる細胞組織をゆるめる。免疫力を高めるには元気のいい白血球や赤血球が十分つくられるよう、血髄へ、いい血のもとを送る。
 - ㊻ 食中毒に用心する。高温、多湿時は食物に細菌が増えやすくなります。必要なときは熱を加えたり、工夫して食中毒を防ぎましょう。
- ④ 自分に合った趣味をもつ、自然を楽しんだり、心豊かにしていきましょう。
- ⑤ 東洋医療の活用 反応の出ている穴に適切に鍼や灸を行えば、全身の循環をよくしたり、ある治癒力を高めます。よく用いる穴、●足三里のツボ ●三陰交のツボ ●太谿のツボ

2 社会の矛盾にたいして、心の平安を

- ① 日本は経済面では、営利第一主義をとっています。（貧富の格差）一見、豊かな生活をしているように見えますが、一般市民の生活は格差が拡大しています。

富裕層は豊かな暮らしをしています。健康を害したり弱い立場の人は、経済的に苦しく、生きにくい状況がひろがりつつあります。

日本国憲法では「健康で文化的な生活を保障する、、、、」と謳われていますが、実際はそうになっていないということは、この国の民主主義が国民にゆきわたっていない、ということです。

現在の日本は一人ひとりが、いうまでもなく国の主人公ですから、この不平等に対して発言したり行動することが必要です。
- ② 東洋医療と西洋医療に関する差別について

私たちは、宇都宮の患者さん「岸イヨさん裁判」を闘ってきまして「本人が希望するかかりたい医療にかかれるようにすることは、日本国憲法からいっても当然のことである。」と学んできました。このテーマについても、不平等で、東洋医療を担当している者はいろいろと苦しい立場に置かれています。民主主義が国民に行き渡っていないことがわかります。人類は歴史上、数々の困苦を乗り越え今日に至ったのです。

私たちのやっていることは、全体から見たら小さな事かもしれませんが、正当な事です。

わかりきった事ですが、「明るい道づくり」を続けていきましょう。きっといつかは、希望がかなうときが来ると心おだやかにいきましょう。できるところから力を合わせながら。

東京大空襲を身をもって体験し、今思うこと

長いコロナ禍のどさくさに紛れて、憲法をまったく無視した「安保三法案」や大軍拡計画、武器のバク買い、さらに、武器を作って売ろうという法案まで、国会や国民を無視した閣議決定するという、いったい、この国は民主主義の国なのだろうか、と目も耳も疑いたくなる岸田内閣のお仕事ぶり。

しかもメディアはまるで手足をもぎとられたような状況、だれに付度しているのか、“何かおかしいな”“このままでいいのかな”と思って、言ったり、行動したりしている情報（例えば軍拡反対の集会やデモ、5月3日の憲法集会などのニュース）には目をつぶり、ほとんど報道されないので、国民には事実も真実も伝わらない。

こんなことでいいのかな？ そして“何かおかしいよね～”とお隣さんとおしゃべりするのとはばかれる雰囲気、いつの間にかしっかりできてしまっている。そう感じるのは、私だけでしょうか。

やはり「新しい戦前」がつくられつつあると、とても心配です。

私は先の戦争で、昭和20年3月10日の東京大空襲で火の粉の降る中を逃げのびた一人です。小学校1年生でした。もちろん家はまる焼けになり、田舎の親戚に身をよせました。戦争は人の命を奪うだけでなく、一生懸命働いて築いてきたものすべてを灰塵に帰してしまいます。軍備をいくら持っていたても、戦争になったらおわり!!ということです。国は戦争にならないよう「外交交渉」で物事を解決するしか道はないのです。また、その責任があります。目には目を、歯には歯を、で武力に向かっていけば日本は真っ先に沈没してしまうでしょう。

これはわかりきったことです。戦後78年、日本が戦争に巻きこまれずにすんだのは、ひとえに「日本国憲法」があったから、「憲法9条」に守られてきたからです。戦後もアメリカは、朝鮮戦争、ベトナム戦争・・・と次々と戦争を仕かけ、この度はロシアのプーチンによるウクライナ侵攻と、大国は世界中に火の種をまき散らしています。そんな中でも、日本は平和を守ってこられたのです。岸田内閣はその「憲法」を根底からひっくり返す法案を、国民を全く無視して押し通そうとしています。そして、あわよくば「憲法」そのものも変えてしまおうとしています。

私たちは、本気で、それでいいのかを問い続け、言い続け行動しなければ、と思います。

黙ってしまったら本当に戦前とおなじになってしまうからです。

私はあの悲惨を二度とみたくありません。あの夜の真っ赤な空も、黒い雨も、川に浮かぶ亡骸も、そのなきがらを積み上げて燃やした煙も、子や孫や次の世代の子どもたちに見せたくありません。

このことを一人一人が自分の頭でよく考えて、勇気を出してなんとしても今の政府の存続を止めましょう。ですから岸田首相にお願いします。軍備にかかるお金を国民の医療、福祉、生活の向上にまわして下さい。日本を国民が安心して暮らしていける、平和で、豊かで、楽しい国にして下さい。ちょっと見方を変えて、向かう方向の角度を少し変えるだけでできるのですから。（大軍拡でなく、平和外交への転換）健康保険で鍼灸治療を!! という本会の運動の趣旨からははずれてしまいましたが、日頃思っていることを書かせて頂きました。マイナカード（国民総背番号制）に健康保険をひもづけする話にもなっていて、国がますますおかしな方向に行きつつあるので、立ち止まってよくよく考えることが大事な。と思っています

2023. 5. 16

利根川 美代